文芸コーナー

短歌

加藤恵美子選

枝々に咲く蝋梅の黄の花が雪の溶けゆく庭にかがやく　小林　小田川芳子

移りゆく冬の日追ひて鉢植ゑを日向に運ぶ声をかけつつ　大森　我孫子正子

回廊に松明疾り二月堂の闇に火の粉の爆ぜて耀ふ　小倉台　並河千恵子

休日の庭に降る雪眺めをり稀なる雪の今日の静けさ　小林大門下　品村　葉子

梅林を友と歩きしその夕べ脱ぎしコートに梅の香ぞする　木下東　平湯　涼子

俳句

田口　三石選

竜の玉一隅に抱き古寺静か　滝野　山崎　勝慶

花八手父は生涯戦中派　小倉台　橋本　祐子

余生なおなす事あらん春立ちぬ　大森　中澤　とし

病院食に菜の花一つ加へらる　小倉台　川上　謙一

防人の歌碑読む春の日暮れかな　内野　葛西　節子

〈短歌・俳句をお寄せください〉
一人一首または一句で未発表のもの。毎月20日締め切り（必着）です。投稿は、住所・氏名（ふりがな）・電話番号を明記の上、秘書広報課広報広聴班まで。

ほっとレポート

失われゆく自然の灯を守れ「亀成川を愛する会」

広報レポーター：山本（やまもと）　尉（じょう）（木下）

『ねぇおばあちゃん。印西にキツネなんているの？』『ああ今でもいるさ。ほら、近くの千葉ニュータウンの原っぱで暮らしてるんだよ』

市民団体「亀成川を愛する会」をご存じですか。同会は平成22年6月に設立。市内・近隣の環境保全団体による「北総里山クラブ」の構成団体でもあります。

唐突ですが、みなさん、印西市の好きなところは何ですか。僕は「都会の便利さもありながら、すぐそこに豊かな深い自然で囲まれているところ」が気に入っています。現に印西市は昔から偶然が重なり、全国でも珍しい動植物の聖域が今も残されています。

中でも、印西牧の原周辺の広大な「そうふけの原っぱ」には、今でもキツネが住んでいるそうですよ。キツネがいるということは、生態系が豊かな証拠。しかし現在、そのキツネたちの楽園が開発により失われつつあります。

キツネ（ホンドギツネ）は、千葉県では絶滅の危機にあります。開発により、キツネたちは住処を失い、僕たちが知らないうちに、ほかの動物たちとともに姿を消していきます。人間にとっては決して悪いことではないですが、豊かな自然や動物と共生することはできないのでしょうか。

「亀成川を愛する会」では、亀成川の治水工事の際に、都市再生機構と話し合い、環境に配慮した工法に変更してもらったほか、川の再生事業を実施しているそうです。

昨年7月に草深の原っぱで撮影されたキツネの姿

しかし、人間の力の前では、今まで暮らしてきた動植物は思うように暮らせません。側溝に落ちてしまったカエルを一日800匹も救出したり、多彩な活動を僕たちが知らない時と場所で行い、僕たちの好きな風景を守り続けているのです。

去る2月9日、イオンホール（イオン千葉ニュータウン店内）で開催された、同会主催の「奇跡の原っぱ　そうふけっぱらのキツネを守ろう！」にも参加しました。印象的だった言葉が「もうこれからは、街をデザインするのは都市再生機構ではなく我々市民です」の一言。

一人ひとりが環境保全の意識を持ち、声を上げていけば、生態系が豊かでどこにもない素敵な街になっていきます。少し不便でも、全国では類を見ない田園都市の共生環境を、僕たちの手でつくっていきませんか。印西市長さんも、ぜひご協力ください！

そして願わくば、冒頭の会話が、この印西市でいつまでも聞くことができますように。

▲亀成川に殖栽されたマコモ（左）と「魚・貝・昆虫などの生き物救出作戦」の様子（全写真提供：亀成川を愛する会）

問亀成川を愛する会（✉kamenarilove@yahoo.co.jp・HP http://www.kamenari-love.com/・ブログ http://blog.livedoor.jp/kamenarigawa/）。

施設がいど

日本医科大学千葉北総病院

広報レポーター：泉（いずみ）　夏樹（なつき）（木下東）

日本医科大学千葉北総病院（鎌苅1715）は、平成6年に「21世紀の医療学園都市を目指し、国際性にも対応しつつ、地域の中核病院を目指す」という基本構想をもとに開院しました。82・5ヘクタールという広大な敷地には水と緑豊かな丘陵が広がっています。

▲自然豊かな環境に立つ日本医科大学千葉北総病院

最新医療技術を持つ病院だけでなく、将来的には高齢者の健康保持や増進などを包括した健康・福祉の総合基地の実現を目指しています。現在、許可病床数は600床、診療科目は20を超えており、ほぼ全ての疾病治療に対応できる体制が整っています。患者数は一日約1，200人。適性患者数は900人とされていますが、実際はオーバーフロー状態で、ドクター以下は常に多忙を極めています。

◀▲救急の患者が運ばれる救命救急センター初療室と常時出動態勢にあるドクターヘリ（写真左）。共に緊急医療の主力です

脳神経外科には脳神経センターが開設され、最新鋭の機器を駆使して、最高レベルの診察を行っています。12床の脳卒中治療室（SCU）が設置され、脳卒中ホットラインと併せて積極的な活動を展開しています。平成8年には災害拠点病院（基幹災害医療センター）に認定。1、2階の廊下は、災害緊急時に初期治療スペースとして利用でき、有事を想定し、330もの簡易ベットが用意されています。

同院の最大の特徴「ドクターヘリ」は、平成13年に導入されました。脳疾患・心疾患など重症患者や交通事故負傷者に対する現場治療や搬送にあたり、出動回数は年間900回に迫ります。消防から連絡を受けて、わずか3分での出動となります。ドクターヘリは機体がコンパクトですが、機内には医療器具がたくさん積み込まれ、とても機能的です。君津地区に配備されたヘリと連携し、千葉県全域、茨城県南部をカバーしています。

救命救急センターのドクターやナースには全国から応募があり、現在20人のドクターで運営されているそうです。東日本大震災の際は発生直後に現地に駆けつけ、医療活動にあたりました。

同院の目標は「日本一信頼される病院になる」です。この機能的な病院が今後も高度な医療を提供するために、さらに機能分化を図ることが必要だと感じました。

問日本医科大学千葉北総病院（☎99）1111）。

リサイクル情報広場

掲載情報は2月28日現在
問クリーン推進課クリーン推進班（☎内線383）

◆ゆずります情報（有料の物は希望価格）

①全自動洗濯機（タテ型）②食器洗い乾燥機（家庭用）③スキー服（女性用）④パンツプレス⑤インクジェットプリンタ用インク7色（1千円）⑥ハイローベット＆チェア（800円）⑦小林中学校学生服、長袖とYシャツ（ズボン200円・Yシャツ300円）⑧巻き革（牛革・1千円）⑨アルトサクソフォン（7万円）。

◆さがしています情報

①うす、きね②ロックミシン③子ども用自転車、一輪車④大森小学校体操服⑤ピアノ（アップライト）⑥印西中学校女子用制服と運動着⑦しおん幼稚園男児・女児用ジャージ、男子・女児用体操服（大きめサイズ希望）⑧天神幼稚園男児・女児制服、ブラウスなど⑨犬用乳母車⑩ベビーカー⑪補聴器。

※詳しくは市ホームページをご覧ください

毎月5日は「ノーレジ袋デー」です。お買い物にはマイバッグを持参しましょう。